

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会誌



Hanamizuki

ハナミズキ

Vol. 8

Jan. 2022



同窓会会長挨拶

リハビリテーション学科

同窓会会長 笹本 陵太

皆様、こんにちは。令和3年度よりリハビリテーション学科同窓会会長を務めさせていただきます。言語聴覚学専攻3期生の笹本と申します。今年度も同窓会の発展のため役員一同努力して参ります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年も無事に同窓会誌「ハナミズキ」を発行することができました。今回の「ハナミズキ」では、通常の活動報告に加え、各専攻の新しい先生方のご挨拶や新しく大学にできた施設についても記載しております。

本同窓会では今年度、誠佑記念病院の北出貴則先生に「車椅子シーティングの評価と実践」、車椅子トラベラーの三代達也先生に「世界一周車いすトラベラーが私たちに伝えたいこと」というテーマでご講演頂きました。前年度はコロナ禍で開催を中止しましたが、今年度はオンライン形式で研修会を開催することができました。たくさん同窓生に参加していただき、臨床現場で活かすことができる知識を得ることが出来たと思います。今後、皆様と共に多くの事を学ぶことが出来る機会、また先輩後輩が繋がるきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、熊本保健科学大学の

卒業生として今後も一緒に大学や同窓会を盛り上げていきましょう。今年度も変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

教員挨拶

■ ワクチン・検査パッケージ

熊本保健科学大学学長

竹屋 元裕

9月一杯で国内の緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が全面解除となりました。熊本県でも重点措置が解除され、新規感染者数も目に見えるほどに減ってきました。とはいえ、まだまだCOVID-19の収束には、ほど遠い状況です。

コロナとの共存を図るための戦略として、政府から「ワクチン・検査パッケージ」という提案がなされました。「ワクチン接種済み」であることと「PCR等の検査で陰性」であることを合わせて証明することで行動制限を緩和しようという試みです。本学では9月上旬までに2回の職域接種を終了し、学部学生の接種率はほぼ90%となりました。学内で構築したPCR検査と併用することで、「ワクチン・検査

「パッケージ」の方針に従って、可能な部分から制限を緩和し、ウィズ・コロナ時代に即した教育体制を構築して行きたいと考えています。

先日、笹本陵太会長をはじめ各同窓会会長の皆様との意見交換会を開催し、「熊保大夢基金」を活用した学生への経済的支援や卒業生による在校生を対象としたキャリア教育などの貴重なお意見を頂きました。新型コロナウイルス感染症の縮小傾向をうけて、「久しぶり、元氣かい」の再開を皮切りに大学と同窓会との連携強化を図っていきたいと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

■はじめまして

リハビリテーション学科
学科長 田中 聡

本年度から学科長を拝命致しました田中 聡です。よろしくお願ひします。新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、臨床現場で働かれています卒業生の皆さまは、大変なご苦労をされていると思います。本学では、9割ほどの学生がワクチン接種を済ませ、一部、対面授業や演習を再開しておりますが、完全な再開には至っておりません。そのような状況下でありま

すが、多くの施設のご厚意で、学外での臨床実習を実施することが出来ております。実習を引き受けてくださっている施設の多くは、本学の卒業生の皆さまが在籍しておられます。本学の学生のために実習を引き受けてくださるのには、卒業生の皆さまの普段からのご活躍の賜物であり、本学の大きな財産であると感じております。実習先に伺った際には、先生方から「大学と臨床現場との連携を深め、後進の教育に努めましょう」と、暖かく、深いお言葉をよく頂戴します。医療人を目指す学生に対して、学内だけでは十分に教えることの出来ない事柄も多くあります。また、遠隔での授業が多くなり、色々と不慣れな学生が実習でご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思ひます。本学の学生が、しっかりと医療人としての自覚持ち、医療の現場へと巣立っていきけるよう、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

■理学療法学専攻2.0

理学療法学専攻

専攻長 久保 高明

皆さんこんにちは。
まずは、昨年度の本誌に引き続き、

今回も新型コロナウイルスに関することを報告いたします。昨年度後期より、学内の医学検査学科の先生方のご協力により、PCR検査で陰性を確認の後、臨床実習を依頼するシステムとなりました。また、原稿執筆時点(8/13)までに、希望学生・教職員の2回目のワクチン接種が終わりました。熊本県内の感染者数は増加の1歩を辿っていますが、これらの対応により、臨床実習や対面講義の不安はかなり低減出来ているかと存じます。

さて、本専攻は令和4年度に向けて募集定員20名増かつスポーツリハビリテーションコース新設を国に申請中です。近年言われる「人生1000年時代」において、国民の健康寿命の延伸が必要とされています。子供から大人まで、運動やスポーツを通していつまでも元気に過ごせるように支援するために「ヒトの動きを評価する・向上させるスペシャリストである理学療法士」はその最適解として存在すべきであると考えます。トレーニング論やスポーツデータサイエンス論などの座学に加え、アスリートのトレーニング現場等に足を運ぶ演習系の科目もあるのはすごく魅力的です。今後のバージョンアップした本専攻にご期待くださいませ。

■新カリキュラムにおける臨床実習について

生活機能療法学専攻

専攻長 山野 克明

本年度より生活機能療法学専攻長を務めております山野と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

令和2年度より理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則が改訂されたことに伴い、昨年度の入学生より新しいカリキュラムを進めています。新しいカリキュラムでは、1年次に見学実習(1週間)、2年次に地域実習(2週間)を配当し、地域おける作業療法士の職務内容について理解を深めながら3年次以降の評価実習(4週間)ならびに総合臨床実習(8週間×2回)につなげる科目配当としております。

本専攻では臨床実習の質を高めるための一環として、来年度から大学教員が臨床実習の進捗度についてオンライン上でリアルタイムに把握できる臨床実習支援システムの導入を予定しています。既にいくつかの実習施設にトライアルをお願いしましたが、学生および臨床実習指導者から好評を頂いています。Web会議ツールを使って学生と面談する機会をつくれれば、遠方で実習をしている学生に対し教員が対面に近い形でサポートすることも可能にな

ります。学生が安心して実習できる環境を整えたいと思います。

卒業生の皆さまは日常業務に加え、臨床実習指導者講習会の申し込みや受講などご多忙の日々と思いますが、今後とも後輩の育成にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

■同窓会の皆様へのお願い

言語聴覚学専攻

専攻長 大塚 裕一

世の中は相変わらずのコロナ禍でまだまだ落ち着ける状況ではありません。昨年この原稿を書いている時には、来年の今頃にはコロナも終息し、様々な活動も再開しているのかなと予測していたのですが、個人的に甘い見通しだったなと感じています。現時点でもいつまでこの状況が続くのかも不透明な状況で、同窓会の会員の皆様の間置かれている環境も大変な状況が続いているものと推察します。そのような状況の中、学校ではなんとか職員の方と協力し合い、遠隔講義と並行して対面講義を実施することもできていますが、学生さんの学習環境が大きく変わってしまった事実は変えようがありません。きっとこのような環境変化が影響したのか、実は皆様方の後輩に関

して、学内生活や実習に関連することで時折問題が生じるようになっていきます。現在、多くの学生が、コロナ禍のために、特定の期間のアルバイト、外出、部活動等様々な活動の制限を余儀なくされています。おそらくその制限された活動によるストレスが、指導されるべき行動につながっているのではないかと考えています。もし、実習や勉強会などで本学の学生に会う機会があれば、その際、先輩からの助言として、このような状況だからこそより一層、守るべきルール、医療人としての心替えなどを意識した行動が必要であることをご指導いただければと思います。どうぞ、よろしくお願ひいたします。来年はきっとコロナも終息していることを祈念しつつ……



新任教員紹介

新任の先生に趣味をうかがいました！



理学療法学科専攻

荒木 理恵 先生 (理学療法士 特任講師)

週に数日勤務され、「スポーツ理学療法学」や「理学療法評価学Ⅰ」の講義をされています。大学以外では、パーソナルトレーナーや、高校の運動部のチームトレーナー等をされているとのこと。

趣味はバドミントンで、中学時代からずっとされており、中学では全国大会で団体3位、高校時代は全国大会で団体準優勝を経験されています。



令和3年度 研修会報告

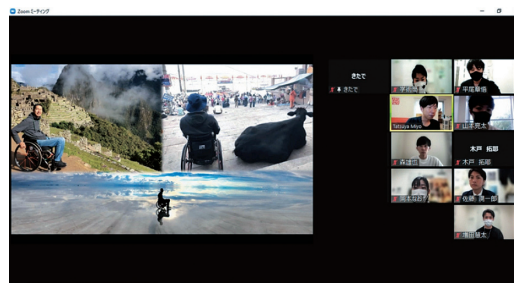
令和3年9月5日 同窓会学術研修会を行いました

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、研修会開催が見送られましたが、今年度は皆様のご協力もありオンライン形式で研修会を開催することができました。

「車いすシーティングの評価と実践」

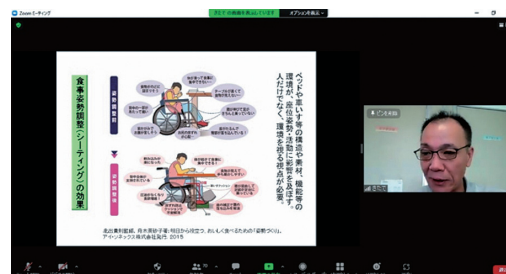
「世界一周車いすトラベラーが私たちに伝えたいこと」

の2つをテーマに、講師に北出貴則先生、三代達也先生を迎え、延べ70人程の参加がありました。



同窓会では今後も様々なテーマで講演会を実施していく予定です。

学びの場として、また、卒業生同士の交流の場としても、たくさんの方の参加をお待ちしています。



北出先生の車いすシーティングの講義では、イラストや動画を用いてシーティングの評価方法や考え方、また実技としてタオル等を用いて簡単に実践できるシーティングをご講演していただきました。

三代先生のランチョンセミナーでは、ご自身の体験を当時の写真を用いながら、当時の心境やリハビリへの率直な意見、前に進むために必要な考え方などをご講演していただきました。



講演会テーマ希望受付

毎年、同窓会にて講演会・勉強会を企画しています。より皆様にとって有意義な機会にするために、講演会・勉強会の希望を受け付けています。

この講師・先生の講演を聞いてみたい、こんなテーマで開催してほしい、など皆様から頂いた希望を同窓会がサポートできればと考えています。

皆様からの貴重なご意見・ご要望をお待ちしています。

同窓会学術局

連絡先 Email : 2019khsu@gmail.com

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会会則

平成30年4月1日制定

第1章 総 則

- 第1条 この会は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会という。
- 第2条 この会は、本部を熊本保健科学大学リハビリテーション学科内（熊本市北区和泉町325番地）におく。
- 第3条 この会は、会員相互の親睦を図ると共に、学術技能の向上に努め、母校の名声を宣揚し、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 各専攻間の連携・親睦を深めること。
 - 2 同窓会誌及び同窓会会員名簿発行に関すること。
 - 3 学術研修会及び研究発表会に関すること。
 - 4 その他この会の目的を達成するため必要な事業。

第2章 会 員

- 第1条 この会の会員は、次のとおりとする。
- 正会員 熊本保健科学大学リハビリテーション学科を卒業したものの。
特別会員 熊本保健科学大学職員で、会長の推薦したもの。
準会員 熊本保健科学大学学生
- 第2条 この会の会員（特別会員を除く）になろうとする者は、総会に於て定められた会費を納入しなければならない。
- 第3条 会員は、氏名、住所、勤務先等に変更が生じた場合は、その都度指定した連絡先に通知するものとする。

第3章 役 員

- 第1条 この会に、次の役員をおく。
- | | |
|------|-----------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 評議員 | 4名 |
| 評議員 | 2名（事務局・学術局から1名） |
| 監事 | 2名 |
| 常任委員 | 各専攻・各期から2名 |
- 第2条 役員の選出方法は次のとおりとする。
- 1 会長及び副会長は、正会員の中より評議員会において選出する。
 - 2 評議員及び会計・監事は、常任委員会において常任委員の中から選出する。
 - 3 常任委員は、総会において会員の中から選出する。
- 第3条 役員の職責は、次のとおりとする。
- 1 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。
 - 2 副会長は、会長を補佐し、会長に支障ある時はこれを代行する。
 - 3 評議員会は、会長の諮問する重要事項を審議する。
 - 4 監事は、この会の経理を監査し、評議員会に報告する。
- 第4条 役員の任期は、次のとおりとする。
- 1 会長は、任期を1年とする。
 - 2 副会長及び会計・監事・評議員は、任期を1年とする。
 - 3 常任委員は、任期を任意とする。
- 第5条 この会は、本部に事務局と学術局を設ける。
- 第6条 事務局は、常任委員より選出し、庶務部、企画部の係をおく。
- 1 庶務は、会員の異動調査及び会員名簿の出版等庶務一般の管理を担当する。
 - 2 企画は、総会・同窓会誌・講演会・懇親会の企画及び業務を担当する。
- 第7条 学術局は、常任委員より選出し、学術研修部、研究発表部の係をおく。
- 1 学術研修部は、研修会の企画・運営を担当する。
 - 2 研究発表部は、研究発表会の企画・運営を担当する。

第4章 会 議

- 第1条 会議は、総会及び評議員会とする。
- 第2条 総会は、次のとおりとする。
- 1 毎年本校において開催する。但し都合によって開催地を変更することができる。
 - 2 次年度の事業・予算決定、前年度の事業・決算報告の承認、その他会長が付議した重要な事項を議決する。
 - 3 議事は、出席者の過半数をもって決する。
 - 4 総会の欠席者は、議決に関する一切の権限を議長に一任することとする。
- 第3条 評議員会は、次のとおりとする。
- 1 会長が必要に応じてこれを招集する。
 - 2 総会に付議すべき事項、事業の執行に関する事項、その他会長が付議した事項について議決するものとする。

第5章 会 計

- 第1条 この会の経費は、会費、寄付金、賦課金及びその他の収入とする。

- 第2条 予算及び決算については、次のとおりとする。

- 1 この会の予算及び決算は、総会においてその承認を得なければならない。
- 2 決算書には、すべての財源及び使途ならびに現在の経理状況を明らかにし、会計監査を受け、その意見書を添付しなければならない。

- 第3条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

- 第4条 この会の会計経理は、この会則に定めるもののほか、会計規則で定める。

第6章 会則の変更

- 第1条 この会の会則の改正は、総会において承認をうけなければならない。

付 則

- 1 この会則は、平成25年8月3日から施行する。
- 2 この会則は、一部改訂し、平成28年4月1日から施行する。
- 3 この会則は、一部改訂し、平成29年4月1日から施行する。
- 4 この会則は、一部改訂し、平成30年4月1日から施行する。

細 則

（会費・入会金・納入時期）

- 1 第2章第2条による会費は、永年会費5,000円、入会金5,000円とする。
- 2 会費は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科入学時に納入するものとする。
- 3 準会員で退学したものは申し出により会費を返金するものとする。

会 計 規 則

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規則は、会則第5章に基づき、会計に関する必要な事項を定める。
- 第2条 会計は、経費及び物品の出納事務を取り扱い、会計担当常任委員がこれを行う。
- 第3条 出納の事務は、すべて文書により処理し、会長の決済を経なければならない。但し、請求書または領収書徴収不能の場合は、会長または会計担当常任委員以外の常任委員1名以上の認定を以て、これに変えることができる。
- 第4条 会計または支出に対し、不当と認められた時は、評議員会にはかるものとする。
- 第5条 予算外の支出または予算超過の支出に当てるため、予備費を設けることができる。
- 第6条 出納の経理を明らかにするため、下記の帳簿を備え証書類と共に保管しなければならない。
- （1）金銭出納簿 （2）会費納入者名簿 （3）その他の補助簿
- 第7条 会務のために出張する者または会務に従事する者に対しては、最低限必要と思われる旅費及び行動費を支給することができる。
- 第8条 会計は、年度毎に収入支出決算書を作成し、会計検査を受け、その意見書をつけて、総会に提出しなければならない。
- 第9条 会計は、総会までに収入予算案を編成し、評議員会の議を経て総会に提出しなければならない。
- 第10条 会計は、必要に応じ評議員会の議を経て、一会計年度中の一定期間内にかかる暫定予算を作成し、これを執行することができる。この場合、暫定予算は当該会計年度の予算が成立したとき、その効力を失う。
- 第11条 会計は、必要と認める時は会長の承認を経て、資金前渡を行うことができる。この場合、事務終了後直ちに精算しなければならない。
- 第12条 この規則の改正は、評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規則は、平成30年4月1日より施行する。

旅費及び行動費支給規定

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規定は、会計細規則第7条の規定により旅費及び行動費支給に関する必要な事項を定める。
- 第2条 この会の会員及びその他の者で、会長の命令又は要請により会務のため出張する者又は会務に従事する者にはこの規定により旅費及び行動費を支給する。
- 第3条 前条の旅費とは、交通費の実費及び会長が必要と認めた場合の宿泊料とする。
- 第4条 行動費は日数に応じ、宿泊料は夜数に応じて支給する。
- 第5条 交通費は、等級の区分がある場合は最下級のものとし、必要がある場合は急行及び寝台の料金を加算することができる。
- 第6条 交通費実費の計算は目的地までの最短順路によって行う。但し、天災その他やむをえない事由により順路を変更した場合はその現に経過した経路による。
- 第7条 宿泊料は実費を支給する。行動費は日額1,000円とする。
- 第8条 会長は時宜により旅費及び行動費の一部もしくは全部を支給しないことができる。
- 第9条 この規定の改正は評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規定は平成30年4月1日より施行する。

令和2年度 事業報告

I. 運営に関する事項

1. 総会開催
書面にて実施
2. 役員会
5回開催

II. 教育に関する事項

講演会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い延期

III. 調査研究に関する事項

会員の活動状況の把握
会員の住所録調査とデータ管理

IV. 福祉に関する事項

式典（入学式、卒業式）参列並びに祝電送付
会員、準会員の慶弔禍福

V. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ハナミズキ』第7号発行

令和2年度 収支決算報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
1. 今年度収入合計				
1) 会費収入	1,200,000	1,380,000	▲180,000	令和2年度入学生138名
2) 補助金収入	0	50,000	50,000	崎元理事長より
3) 講演会費	0	0	0	研修会非実施のため
2. 雑収入	100	112	▲12	銀行利息
3. 前年度繰越金	12,236,215	12,163,193	▼73,022	
収入合計	13,436,315	13,593,305	▲156,990	

▲：前年予算額より収入増
▼：前年予算額より収入減

II. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会開催費	0	0	0	研修会非実施のため
2) 懇親会開催費	80,000	0	▼80,000	
3) 福祉費	35,000	4,400	▼30,600	電報代、大学行事参加経費
2. 会議費				
1) 役員会会議費	65,000	31,000	▼34,000	
3. 事務費				
1) 備品費	50,000	770	▼49,230	事務用品（パソコンソフト含む）
2) 消耗品費	10,000	0	▼10,000	事務用品
3) 通信費・印刷費	700,000	694,164	▼5,836	第7号ハナミズキ、研修会案内の発送
4. 拠出費	50,000	0	▼50,000	同窓会連合会年会費
5. 予備費	1,000	0	▼1,000	銀行手数料など
支出合計	991,000	730,334	▼260,666	

▲：前年予算額より支出増
▼：前年予算額より支出減

令和3年度 事業計画・予算案審議

I. 運営に関する事項

1. 総会開催
書面にて実施予定
*新型コロナウイルスの感染対策のため
2. 役員会
20回開催する見込み

II. 教育に関する事項

1. 講演会開催
9月5日(日) オンラインにて開催

III. 調査研究に関する事項

1. 会員の活動状況の把握
2. 会員の住所録調査とデータ管理
名簿管理を小野高速印刷へ委託

IV. 福祉に関する事項

1. 式典(入学式、卒業式)参列並びに祝電送付
2. 会員、準会員の慶弔禍福

V. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ハナミズキ』第8号発行
2. リハビリテーション学科同窓会ホームページの創設

令和3年度 収支予算(案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

I. 収入の部

(単位:円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 今年度収入合計				
1) 会費収入	1,200,000	1,200,000	0	令和3年度入学生120名(40人×3専攻)
2) 補助金収入	0	250,000	▲250,000	学校法人銀杏学園250,000円
3) 講演会費	0	450,000	▲450,000	参加費未定
2. 雑収入	100	100	0	銀行利息
3. 前年度繰越金	12,236,215	12,445,315	▲209,100	
収入合計	13,436,315	14,345,415	▲909,100	

▲: 前年度予算額より収入増

▼: 前年度予算額より収入減

II. 支出の部

(単位:円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会開催費	0	750,000	▲750,000	謝礼金: 210,000円×2人
2) 懇親会開催費	80,000	50,000	▼30,000	懇親会費
3) 福祉費	35,000	35,000	0	電報代、大学行事参加経費
2. 会議費				
1) 役員会会議費	65,000	65,000	0	
3. 事務費				
1) 備品費	50,000	50,000	0	事務用品(パソコンソフト含む)
2) 消耗品費	10,000	10,000	0	事務用品
3) 通信費・印刷費	700,000	550,000	▼150,000	第8号ハナミズキ、研修会案内の発送
4. 拠出費	50,000	50,000	0	同窓会連合会年会費
5. 予備費	1,000	1,000	0	銀行手数料など
支出合計	991,000	1,561,000	▲570,000	

▲: 前年度予算額より支出増

▼: 前年度予算額より支出減

リハビリテーション学科同窓会 ホームページ開設準備中

研修会案内や活動報告のため、
ホームページの開設を準備中です。
情報収集の一つとして、ぜひご利用ください。

監査報告

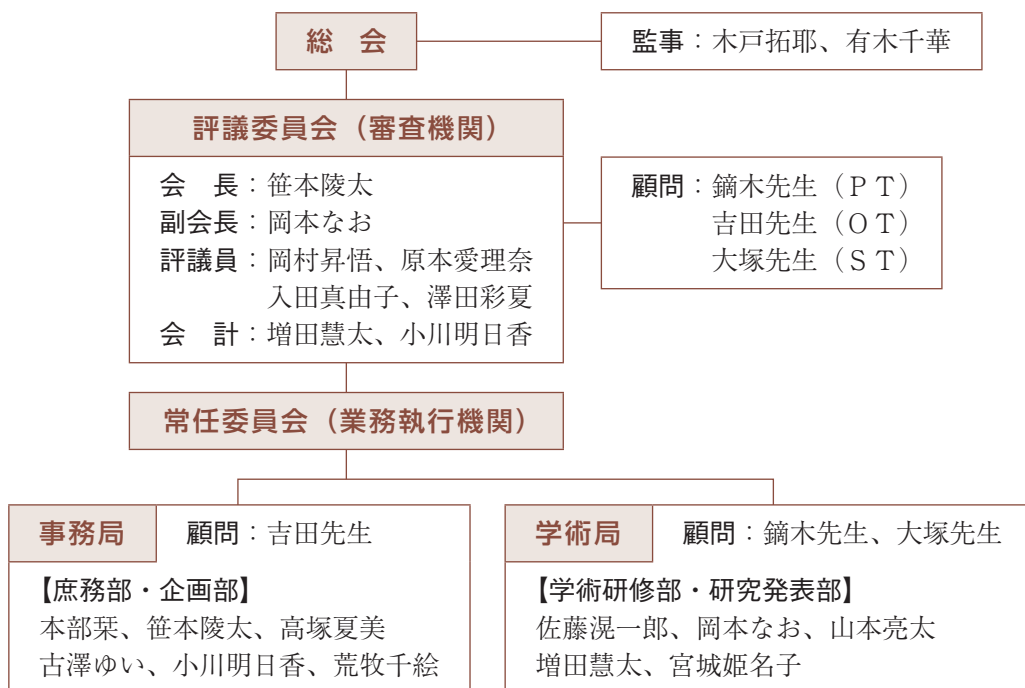
熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科
同窓会会長 笹本 陵太 殿

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科同窓会会則第5章の規定により、
令和3年12月7日、熊本保健科学大学スタッフルームにおいて、令和2年度決算に
ついて監査を実施しましたところ、一般会計、帳簿類など整備良好で会務とも適切な
執行が行われていることを認めます。

令和3年12月7日

監事 濱田 多恵
監事 倉本 佳美

令和3年度 リハビリテーション学科同窓会役員編成



名前・住所の変更

名前・住所の変更があった方は、小野高速印刷までご連絡をお願いします。
変更前の氏名・住所と変更後の氏名・住所を合わせてご連絡ください。

小野高速印刷(株) 熊本営業所
 熊本県熊本市中央区上水前寺1丁目12-12 第二コーポ・アベリア1F
 連絡先 Tel: 096-382-1177 E-mail: kumamoto@ohp.co.jp

新図書館が完成しました！

今までレストランとして使用していたスペースを改装し、3月31日から図書館となりました。開放的で居心地のよい空間となっています。学生達がグループワークやプレゼンテーションを積極的に行える空間づくりを目的としています。

